



県が推進する薬局を活用した 健康増進事業

令和7年2月28日

神奈川県健康医療局生活衛生部薬務課長 諸角浩利



未病改善ヒーロー
ミビョーマン

本日本話すること

○ かながわ健康プラン21（第3次）

☞ 未病センター

○ 神奈川県保健医療計画（第8次）

☞ 出前講座

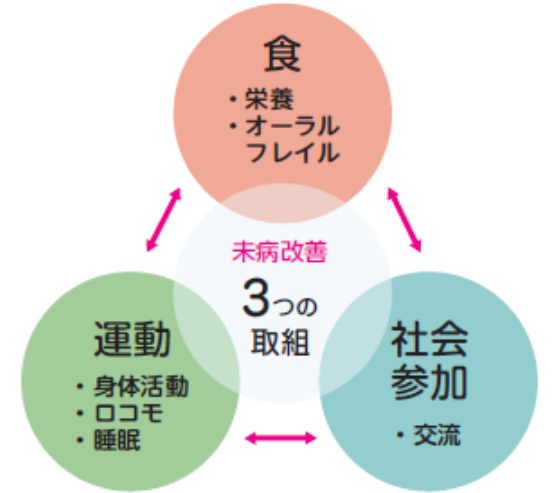
☞ けんけつ健康相談薬局

○ 県の健康増進施策における薬局の役割

かながわ健康プラン21（第3次）について

基本理念

- かながわ健康プラン21（第3次）では、「いのち輝くマグネット神奈川」の実現に向けて、「健康寿命の延伸」及び「健康格差の縮小」を目指します。
- 全ての県民が未病を自分のこととして考え、「食」「運動」「社会参加」の3つを柱とする未病改善に取り組んでもらえるよう、関係機関、市町村等と連携しながら、個人の特性や状況に応じた健康増進施策の展開や、未病改善を気軽に実践するための環境づくり等を推進します。



全体目標

<健康寿命の延伸>

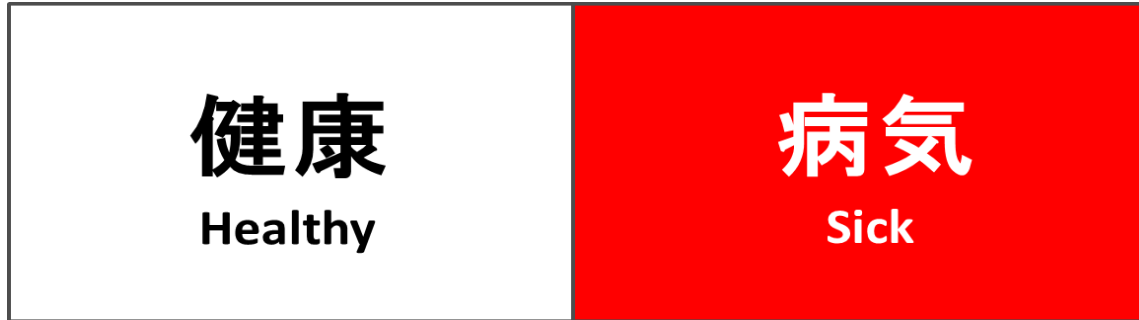
生活習慣病対策、生活機能の維持・向上等に取り組むことで、平均寿命を延ばすとともに、健康寿命を延伸します。

<健康格差の縮小>

社会環境の質を向上することで、全ての県民が健やかな生活を送れるよう支援し、健康格差を縮小します。

神奈川県健康増進施策の特徴「未病改善」

「未病」とは？



未病・ ・健康と病気を二分論の概念で 捉えるのではなく、
心身の状態は「健康」と「病気」の間を連続的に変化する
ものとして捉え、この全ての変化の過程を表す概念

未病改善・ ・心身の状態の変化の中で、特定の疾患の予防にとどまらず、
心身をより健康な状態に近づけていくこと

神奈川県健康増進施策の特徴「未病改善」

未病改善の取組



未病改善を「自分ごと」として捉え、

自らの行動変容（生活習慣改善）を促すことで健康寿命延伸を図る。

県の健康増進施策「未病センター」

身近な場所での未病改善：未病センター

- ・ 県民の皆さまが手軽に自らの身体の状態をチェックできる。
- ・ 専門家（保健師、薬剤師など）のアドバイスを受けられる。
- ・ 未病改善に関する情報を得られる。
- ・ 市町村や企業が運営しています。

未病センター



未病センターずし市役所



未病センターかまくら

県の健康増進施策「未病センター」

身近な場所での未病改善：未病センターの設置

利用できる測定機器の例

血管年齢計、体組成計、血圧計、ヘモグロビン量測定器、脳年齢計 など
無料または実費で測定可能。

【薬局による設置例】

- ・ ウエルシア薬局(株)
- ・ クオール(株)
- ・ (株)イノベーションオブメディカルサービス
- ・ (有)林間薬局
- ・ 日本調剤(株)



神奈川県保健医療計画（第8次）

▶ かかりつけ薬剤師・薬局の促進

・ 県及び市町村は、患者や家族が身近に相談できる「かかりつけ薬剤師・薬局」を持つことを通じて健康寿命の延伸のためのセルフメディケーションの大切さを認識してもらい、県民が主体的に医療に関わっていくよう、普及啓発に取り組めます。

・ 県は、薬剤師会等が行う、かかりつけ機能を有する薬局を推進する取組に協力し、「かかりつけ薬剤師・薬局」の普及・定着を図ります。



県の健康増進施策「出前講座」

▶ 出前講座：薬局の「健康サポート機能」

【事業内容】

- ・ 県薬剤師会に委託
- ・ 自治会や老人クラブ等の団体が開催する講演会やセミナーなどに薬局薬剤師を講師として派遣。
- ・ 薬局における「健康サポート機能」「かかりつけ薬剤師・薬局」機能などや、お薬にまつわる疑問などについて説明を行い、自身のセルフケアに役立てていただく。

「健康サポート薬局」を知っていますか？

健康サポート薬局は、処方箋調剤を行うだけでなく、その地域にお住まいの方や働く方が健康に関する相談や情報収集のために、「いつでも」「気軽に」「気兼ねなく」立ち寄れる薬局です。地域の身近な相談役として、医療・介護の関係職種と連携し、相談内容に応じた適切な医療機関の紹介、薬や健康食品の適正使用に関する助言、情報発信を行っています。



健康サポート薬局は、2016年10月から新たに始まった制度です。厚生労働省が定める基準を満たし、保健福祉事務所等に届出を行った薬局が、健康サポート薬局である旨を表示しています。

県の健康増進施策「出前講座」

▶ 出前講座：薬局の「健康サポート機能」

【実績】

- ・ 年間 30 件
- ・ 自治会、老人クラブ、NPO等開催する講演会等に派遣

【意見・評価】

- ・ 普段聞けないことを教えてもらえた
- ・ 薬局薬剤師に、健康相談だけしてもよいことを知らなかった
- ・ 講師が近くの薬局にいるなら、相談に乗ってもらおうと思った

神奈川県
選みましょう

「かかりつけ薬剤師・薬局」

身近な薬局で信頼できる薬剤師を決め、あなたの「かかりつけ薬剤師・薬局」に選びましょう。
かかりつけ薬剤師・薬局では、あなたのお薬に関する情報を、まとめて管理します。
複数の医療機関から処方箋をもらった時も、あなたのかかりつけ薬局に処方箋を持っていきましょう。

かかりつけ薬剤師・薬局の主なメリット

お薬の情報をまとめて管理

- 同じような薬の重複をチェック
- お薬の飲み合わせをチェック
- 副作用歴、アレルギー歴を把握
- お薬の飲み忘れ、飲み残しを防止
- 在宅医療のお薬を管理、説明
- ジェネリック医薬品の相談

問合せ先 神奈川県健康医療局生活衛生部業務課 薬事指導グループ TEL 045-210-4967

県の健康増進施策「けんけつ健康相談薬局」

▶けんけつ健康相談薬局



【事業概要】

内容：献血を通して、地域住民が、薬局においてセルフケアを実践することができるような仕組みを設ける。

効果：献血者の複数回献血への動機づけ・セルフケアの必要性の認識

県の健康増進施策「けんけつ健康相談薬局」

▶けんけつ健康相談薬局

【概要】

- ・実証モデル地区：海老名市・厚木市・大和市・綾瀬市
- ・対象者：「海老名献血ルーム」での献血者
 - * 上記以外での献血者が相談に来た場合でも相談応需
- ・相談対応薬局：モデル地区内の協力薬局
- ・実施期間：令和6年11月～令和2年2月

【事業実施主体】

- ・県薬剤師会、日本赤十字県血液センター、県（薬務課）



県の健康増進施策「けんけつ健康相談薬局」

▶ けんけつ健康相談薬局

【役割分担】

血液C	案内チラシの配架、案内チラシの手渡し、献血グッズの配布
県薬剤師会	県薬会員薬局の協力依頼及び参加取りまとめ、参加薬局との連絡調整（啓発グッズの配布・アンケート結果の収集）
県（薬務課）	事業実施コーディネート、啓発グッズの作成、事業実施における県民対応

神奈川県 日本赤十字社 神奈川県赤十字血液センター
Japanese Red Cross Society

献血後の検査結果を薬局に健康相談しよう!

ようしく
お願いします
けんけつちゃん
献血キャラクター

複数回献血と、薬局の健康相談の普及を促進するため、啓発イベント（けんけつ健康相談薬局事業）を開催します！対象地域で献血と薬局の健康相談を受けた方先着100名にワイヤレスイヤホンをプレゼント！ぜひ参加ください。

開催期間 令和6年11月1日（金）～令和7年2月28日（金）
実施地域 海老名市・厚木市・大和市・綾瀬市（※1）内の**協力薬局**

参加方法

- まずは、海老名献血ルームで献血！（※2）
- 献血後の検査結果を持って、**協力薬局**で健康相談！
グッズ引換券をゲットしよう。（※3・4・5・6）
- グッズ引換券を持って、海老名献血ルームで再度献血！
献血終了後、グッズと引き換えよう！！（※7・8・9）

※1 海老名市・厚木市・大和市・綾瀬市以外にお住まいの方も参加可能です
※2 「献血」は「全血献血」、「成分献血」とどちらも対象です
※3 献血の検査結果は献血Web会員サービス「クラウド」に登録することで最速翌日に確認できます
※4 効果的なアフィリエイトをもらうために、直近1か月以内の検査結果を持参してください
※5 直近1か月以内の献血の検査結果であれば、海老名献血ルーム以外での結果でも有効とします（献血と関係ない健康診断等の結果は不可）
※6 グッズ引換券を配布するのは協力薬局のみです
※7 グッズ引換券できるのは海老名献血ルームのみ、おひとり様1回のみです
※8 健康相談後の献血に当たっては「クラウド」で事前に予約してください
※9 開催期間終了後（R7.3.1以降）はグッズ引換できませんのでご注意ください

実施主体 日本赤十字神奈川血液センター、海老名献血ルーム、神奈川県薬剤師会、海老名市薬剤師会、厚木市薬剤師会、大和・綾瀬薬剤師会、神奈川県
問合せ先 神奈川県薬務課 ☎045-210-4964

協力薬局はこちらからご確認ください

県の健康増進施策「けんけつ健康相談薬局」

▶けんけつ健康相談薬局

「けんけつと健康相談薬局」利用者アンケート

居住地（市町村）		職業	
年代	10代・20代・30代・40代・50代	性別	男・女

- 問1 ご自身の血液検査結果について、薬局で何を相談したいと思って来局されましたか？
- 問2 薬局での健康相談について、役立ちましたか？
- 問3 今後、薬局でご自身の健康について相談したいと思われましたか？
- 問4 あなたは、この事業をどこで知りましたか？

【実績】（2月上旬現在）

- ・ 100件超

【効果】

- ・ 3月にとりまとめ

県の健康増進施策における薬局の役割

- 👉 健康寿命100歳の実現に向けて、セルケア・セルフメディケーションの認識を浸透させていく必要
- 👉 県民が住まいの身近な場所で、健康増進の認識を向上させるインフラとしての役割



県は、薬局・薬剤師と連携して、県民の健康増進施策を進めていく

🌟 **ご清聴ありがとうございました** 🌟

